

平成 29 年度 学校法人 昭和大学 決算概要

平成 29 年度学校法人昭和大学の決算は、平成 30 年 5 月 15 日の理事会で承認後、同月 25 日の評議員会に報告されました。平成 29 年度の主な事業は、創立 90 周年記念事業の一環として計画しておりました上條記念館建設事業につきましては、建設工事が着工され、平成 31 年 4 月の竣工に向け工事が進んでおります。富士吉田校舎整備計画につきましては昨年度に続き、各視聴覚システムの更新を行うとともに新たな機材を導入し、学生の教育環境向上のための整備を実施しました。外部資金の獲得につきましては、私立大学経常費補助金が前年度同様の全国 7 位の交付額でありました。文部科学省の新規支援事業では、「がん専門医療人材養成プラン」に採択され、参加大学と e ラーニングを活用した大学院教育等の共同実施に伴う検討を行いました。教育、研究、診療の更なる発展の一助として、その収益を大学経営に充てるべく準備しておりました収益事業につきましては、旧豊洲病院跡地と新たに取得した大学近隣の土地・建物の不動産賃貸業収支を別会計に致しました。各附属病院の環境整備として、大学病院、附属東病院において、電子カルテを導入致しました。歯科病院でのデジタル用患者説明用画像参照システムの整備等を始めとした医療機器・設備の整備・更新を行い、診療環境の改善に努めました。また、緊急な事業に対応し、予算との乖離を最小限に止めるべく、補正予算を編成致しました。

一. 貸借対照表について

平成 30 年 3 月 31 日現在の財産状況を示しております。固定資産(土地・建物・機器備品・特定資産他)と流動資産(現金預金・未収入金他)の資産の部合計は 2, 137 億 2, 289 万円で、前年度末と比べて 9, 038 万円の増加となりました。主な変動要因として、建物が 25 億 3, 804 万円の減、教育研究用機器備品が 13 億 3, 627 万円の減、建設仮勘定が 22 億 8, 643 万円の増、第 3 号基本金引当特定資産が 3 億 725 万円の増、上條記念館建設引当特定資産が 1 億 9, 637 万円の減、減価償却引当特定資産が 4 億 5,

000 万円の増、教育研究用ソフトウェアが 13 億 509 万円の増、収益事業元金入金が 19 億 7, 049 万円の増、現金預金が 26 億 7, 301 万円の減となりました。また、既存の建物・機器備品等の減価償却額 80 億 6, 431 万円が前年度簿価より減少しております。一方、固定負債(長期借入金・退職給与引当金他)と流動負債(短期借入金・未払金他)の負債の部合計は 494 億 4, 953 万円で、前年度末と比べて 15 億 5, 039 万円減少となりました。長期借入金は 25 億 4, 292 万円の減、退職給与引当金が 3 億 1, 290 万円の増となりました。

資産の部合計から負債の部合計を差し引いた「正味財産」は 1, 642 億 7, 335 万円で、前年度より 16 億 4, 077 万円増加となりました。

二. 事業活動収支について

事業活動収入の部合計は 1, 119 億 5, 173 万円となりました。予算と比べて学生生徒納付金は 1, 332 万円の減、経常費補助金は 4 億 7, 603 万円の減、付随事業収入は 2 億 6, 686 万円の増、医療収入は 4 億 9, 359 万円の増、受取利息・配当金は 7, 584 万円の増、その他の特別収入は 1, 508 万円の減となり、予算対比で 5, 306 万円の減少となりました。一方、事業活動支出の部合計は 1, 103 億 1, 096 万円となりました。予算と比べて、人件費は 6 億 5, 466 万円の減、教育研究経費は 3 億 4, 160 万円の減、管理経費は 1, 228 万円の増となり、予算対比で 10 億 9, 074 万円の減少となりました。なお、基本金組入前当年度収支差額では、16 億 4, 077 万円の収入超過となり、基本金組入額 94 億 430 万円を引いた当年度収支差額は、77 億 6, 352 万円の支出超過となりました。

三. 資金収支について

資金収支は、法人の諸活動に対応する全ての収入支出の内容を示しております。当年度の資金収入は 1, 142 億 6, 420 万円、資金支出は 1,

平成 29 年度 学校法人 昭和大学 決算概要

169億3,721万円で、当年度の資金収支差額は26億7,301万円の支出超過となりました。収入の部は、予算と比べて、学生生徒等納付金収入は1,332万円の減、手数料収入は6,186万円の減、寄付金収入は3億1,729万円の減、補助金収入は6億2,032万円の減、付随事業・収益事業収入は2億9,292万円の増、医療収入は4億9,359万円の増、雑収入は5,527万円の増となりました。支出は、人件費支出が4億6,711万円の減、教育研究経費支出が3億6,955万円の減、管理経費支出が555万円の減となりました。また、その他の経費として土地、建物等の施設関係支出、教育研究用機器備品、図書などの設備関係支出、および資産運用支出があります。